令和7年9月 日鉄呉跡地活性化検討特別委員会資料

総 務 部

産 業 部

## 日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区跡地に係る防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備について

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区(以下「日鉄呉地区」といいます。)跡地については、令和7年5月16日に開催された議会協議会において、防衛省による多機能な複合防衛拠点(以下「複合防衛拠点」といいます。)の整備について、「できる限りの早期整備が図られるよう、防衛省に要望してまいりたい。」と、呉市長としての方針を表明しました。

呉市議会においても、多くの議員に賛成していただいたことから、同月23日に、呉市長及び呉市議会議長が防衛省を訪問し、中谷防衛大臣及び増田防衛事務次官に、複合防衛拠点について、本市及び地元住民の意見に配慮いただきながら、早期整備が図られるよう、要望書を提出しました。

その後,同年7月31日には,防衛省と日本製鉄株式会社との日鉄呉地区跡地の売買契約締結に向けた両者による基本的事項の合意(以下「基本的事項の合意」といいます。)に至ったことが、防衛省から発表されました。

あわせて,防衛省においては,防衛事務次官を長とする「多機能な複合防衛拠点整備推進委員会」を設置し,今後,当該委員会の下で,機能検討,地元調整・用地取得,施設整備,民間誘致等について一体として推進していくとの発表もありました。

これらのことにより、本市は、複合防衛拠点の整備が一層着実に進むものと期待しているところです。

ついては、改めて、防衛省に対し、複合防衛拠点の早期整備に係る要望をしたいと考えていますので、日鉄呉地 区跡地に係る防衛省の令和8年度予算概算要求の概要と併せて御報告します。

### 1 複合防衛拠点の更なる早期整備の要望

令和7年7月31日に基本的事項の合意があり、あわせて、防衛事務次官を長とする「多機能な複合防衛拠点整備推進委員会」が設置されたことを踏まえ、引き続き、本市及び地元住民の意見に配慮いただきながら、早期整備が図られるよう防衛省に要望したいと考えています。

あわせて、同年3月31日に防衛省から提示されたゾーニング最終案のうち、本市への経済波及効果や雇用創 出効果が期待できる「①民間企業誘致」のエリア及びスポーツ施設など市民が利用できる「⑥運動場」のエリア については、一層早期の整備が図られるよう要望したいと考えています。

## 2 防衛省による令和8年度予算概算要求の概要

「多機能な複合防衛拠点」に関する令和8年度予算概算要求(施設整備) 【3ページ参照】

●土地の地盤状況及び既設岸壁の現況調査などに必要な経費 約6億円

(内訳)ボーリング調査等 約5億1千万円岸壁等基本検討 約 9千万円

- ・陸上及び海上においてボーリング調査を行い、土地全体の地盤性状及び港湾施設付近の海底の地盤性 状を確認
- ・既設の岸壁や護岸の老朽状況等の現況調査
- ・艦艇が係留できるよう岸壁等の係留施設の構造を検討

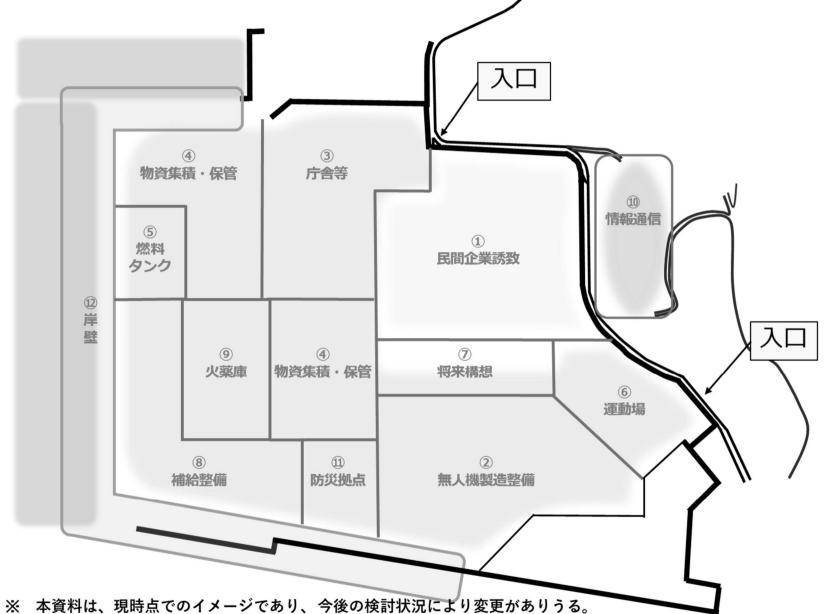
# 「多機能な複合防衛拠点」に関する合和8年度概算要求(施設整備)

# 【「多機能な複合防衛拠点」の整備】

- けた交渉を進めているところです。 本製鉄 (株) 防衛省は、 との間で、 「多機能な複合防衛拠点」を呉地区に整備するため、 同社瀬戸内製鉄所呉地区跡地の一括購入に向 Ш
- 経費として約6億円を計上しています。 する上で、当該土地の地盤状況及び既設岸壁の現況調査などに必要な 令和8年度概算要求においては、 「多機能な複合防衛拠点」を整備



参考: ゾーニング最終案(令和7年3月31日 議会協議会資料から抜粋)



1. 装備品などの維持整備	・製造基盤(民間の誘致を含む)
①民間企業誘致	防衛生産・技術基盤を担う企業を誘致 防衛装備庁研究関連施設を整備 (誘致企業など民間での活用を視野、スタートアップを含めた先進的な研究の実 施を検討)

②無人機製造整備 無人機の製造・整備施設

## 2. 防災拠点 (ヘリポートや物資の集積場など) 及び部隊の活動基盤 (艦艇の配備、訓練場など)

③庁舎等	隊員の勤務する庁舎、営内者の隊舎、厚生施設、グラウンド
④物資集積・保管	岸壁を使用した荷下ろし、艦船用部品などの保管
⑤燃料タンク	艦船等に使用する燃料のタンク
⑥運動場	屋外運動施設、体育館
⑦将来構想	将来活用を検討するエリア
⑧補給整備	艦船に搭載する装備品の維持・整備施設
⑨火薬庫	地上覆土式火薬庫、火薬庫の周囲には土堤を設置し、更にフェンスで囲う 保安距離は敷地内に収まる
⑩情報通信	衛星通信を含む先端的な情報通信施設及び関連部署の庁舎
⑪防災拠点	災害救援物資の保管、物資集積場、ヘリポート

# 3. 岸壁などを活用した港湾機能

(12)岸壁

将来的な利用拡大も視野に入れた、大型の艦船も接岸可能な岸壁

※ 本資料は、現時点でのイメージであり、今後の検討状況により変更がありうる。